

令和4年度 学校評価票（教職員用自己評価）

（学校教育目標）
 人間尊重の精神を基盤とし、調和のとれた心豊かな感性や自主的・創造的に生きようとする実践力を培い、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。

校訓
 自 主
 協 同
 奉 仕

めざす子ども像
 ・伸びる学校 ・楽しい学校
 ・美しい学校 ・進んで考える子
 ・進んで助け合う子 ・進んで働く子

	項目	令和4年度 重点目標	評価項目	評価
I	学 校 組 ム 三 島 の 充 実	学校教育目標達成をめざし、全教職員の協働体制を確立する。	めざす子ども像を共有し、自分の能力や適性が発揮できるように公平に分担された校務分掌に、やりがいを感じている。	B
		職員の意識改革と業務改善や業務の効率化を推進し、全教職員の意欲と創意を結集した学校運営に努める。	ゆとりを持って子どもと向き合い、日々の教育活動の問題点や悩みを、気軽に話せる風通しの良い人間関係づくりに努めた。	
II	学 び の 深 化	計画・実践・評価・改善による教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える児童を育成する。	新しい要素を取り入れたり、指導方法の工夫改善に努め、基礎基本の定着に努めている。	B
		読書の習慣化を実現し、思考力や読解力を育成する。	自分が立てた読書目標が達成できるように「読書記録カード」を有効に活用している。	
		意欲的に研修に参加し、教師力の向上に努める。	研修したことを、校務や指導に生かすことができた。	
III	一 人 人 性 が 活 躍 き 一 人	一人一人を大切にし、ともに生きるための教育活動を創造する。	差別や偏見のない学級集団づくりに努め、全教科・領域で人権教育の推進に努めている。	B
		保護者のニーズを知り、個に応じた最適な支援方法を研究し、人間的ふれあいを密にした支援と指導を充実させる。	保護者や関係機関と連携し、全教職員の共通理解のもと、個に応じた支援方法に努めた。	
IV	の グ ロ ー カ ル 人 材	よりよく問題を解決する力と、生涯学習の基礎となる「生きる力」を育成する。	体験活動や交流活動を通して、一人一人に課題意識をもたせ、問題解決に取り組む時間を十分に与えた指導方法に努めた。	B
		目標の共有化と地域との協力体制を構築し、国際感覚を養う教育活動の充実に努める。	I C T を効果的に利活用し、情報活用能力の定着に努めた。	

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分できなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）